

報告事項 タ

オレンジネットワークとっとりリレー講演会の開催について

オレンジネットワークとっとりリレー講演会の開催について、別紙のとおり報告します。

平成30年10月31日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

## オレンジネットワークとっとりリレー講演会の開催について

平成30年10月31日

図 書 館

県立図書館では、医療・健康情報サービスの一つとして平成24年から音読教室を実施し、県内の図書館や高齢者が集う施設にも広がっている。近年、公民館、高齢者施設などでは、認知症予防プログラムとして取り組むところも増えてきている。さらに音読教室の普及を進め、認知症の人や高齢者にやさしい地域づくりを推進するため、「オレンジネットワーク鳥取モデル」構築の取り組みの一環として、県内3カ所で「オレンジネットワークとっとりリレー講演会」を開催した。

※図書館を活用した「オレンジネットワーク 鳥取モデル」推進事業・・・図書館、行政、高齢者が集う施設で連携を取りながら、認知症予防、認知症の人と家族への支援に取り組み、認知症対策「オレンジネットワーク鳥取モデル」を構築

### 1 第1走者（東部会場）

【日時】平成30年7月1日（日） 午後1時から3時まで

【会場】鳥取県立図書館 大研修室

【内容】

- ・講演「認知症の最新情報」浦上克哉氏（鳥取大学医学部教授）
- ・対談「認知症になってもだいじょうぶ！そんな社会を創っていきましょう」  
浦上克哉氏、藤田和子氏（一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ代表理事）
- ・取組報告「音読教室から見る図書館における高齢者サービス」田村晴夫氏（鳥取市立中央図書館長）
- ・オレンジ・カフェ（正午から午後1時まで：県立図書館・とりぎん文化会館中庭ゾーン）  
オレンジカフェめぐむ（代表 宮城啓子氏）

【参加人数】約200人

### 2 第2走者（中部会場）

【日時】平成30年9月9日（日） 午後1時から3時まで

【会場】倉吉交流プラザ 第1研修室（2階）

【内容】

- ・講演「元気な今から認知症予防～正しい理解と実践～」  
吉野 立（りゅう）氏（認知症の人と家族の会鳥取県支部代表）
- ・取組報告「元気！はつらつ！音読教室の取り組みー音読でつながる図書館と地域ー」  
大嶋裕子氏、松尾絵美氏（倉吉市立図書館 司書）
- ・ゲストトーク「短歌の愉しみ」池本一郎氏（鳥取県歌人会理事）、本間温子氏（元みささ図書館職員）
- ・オレンジ・カフェ（午後3時から午後4時まで：同会場）  
Mag Cafe（マグノリア地域包括支援センター）、かふえとまと

【参加人数】93人

### 3 第3走者（西部会場）

【日時】平成30年10月6日（土） 午後1時から3時まで

【会場】米子市立図書館 多目的研修室（2階）

【内容】

- ・講演「あなたの地域を認知症フレンドリーコミュニティへ～認知症の人にやさしいまちづくり～」  
吉野 立（りゅう）氏
- ・取組報告「米子市立図書館の高齢者サービスについて」佐藤和子氏（米子市立図書館 主査）

【参加人数】53人

#### 4 参加者の感想

- ・ 専門家、ご本人の話が聞くことができよかった。図書館での認知症の研修というのが画期的だった。
- ・ 日常的に、認知症の方と接することはあります。しかし、重度の方が多く、本人の考えを客観的に予測し、対応していくことが多く、今回、当事者である藤田さんの話が聴け、認知症の方の思いが、今まで以上に理解できたように感じます。ありがとうございました。職場でも利用者様にとっての最高のパートナーを目指します。
- ・ 認知症の症状やサポートの仕方、家族へのサポート方法など学ぶことができよかった。また、最後の動画では、実際認知症の方の声を聞き、今後のサポートの仕方について、改めて考え直すことができよかった。
- ・ 音読教室による高齢者サービスを通じて、本への親しみが深まり、人生が豊かになる取り組みは、とても良いと思いました。今後もグレードアップし続けてほしいです。
- ・ 短歌の自由さ、身のまわりのふしぎに目を向けて作られていることなど、楽しくお聞きしました。もっとお話が聞きたかったです。



浦上氏の講演



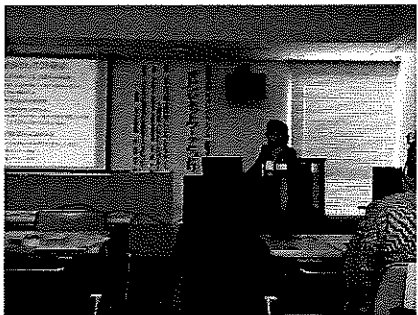
浦上氏、藤田氏の対談



予防について講演する吉野氏



短歌のゲストトーク



米子市立図書館の取組報告



オレンジ・カフェ

#### 5 今後の取組み

今年度は、3会場合わせて約350人の方が講演会に参加され、認知症についての情報や図書館での音読教室等の取組みを多くの方に知っていただくことができた。特に認知症当事者の方の対談やメッセージ動画に対する反響は大きかった。図書館では、認知症当事者の方が書かれた本を所蔵している。そのことを県民の皆様に周知し、認知症についての理解を深める機会としていただけるように取り組みたい。

また、来年度は、図書館、行政、公民館、高齢者施設、病院関係の職員を対象としたワークショップを開催し、認知症になっても暮らしやすい地域づくりをすすめるためのネットワークを広げていきたい。

